# ローカル線で行く! フーテン旅行記 16

- 結ばれなかった鉄路を訪ねて! -

岡山大学工学部機械工学コース助教

大西



専門は機械加工(研削)。主に円筒研削や内面研削を対象として、 工作物の熱変形や弾性変形に伴う精度の悪化を防止する研究を 進めている。趣味は列車を使用した旅行(47都道府県を踏破済)。-

#### はじめに

国鉄 (現在のJR) の 路線の名前には、そ の路線が走る旧国名に由来 するものがいくつもありま す。例えば、上越線は上野 (こうずけ、現在の群馬県) の高崎市と越後(新潟県) の長岡市を結び、伯備(は くび)線は伯耆(ほうき、 鳥取県西部)の米子市と備



福井駅で発車を待つ越美北線のディーゼルカー。

中(岡山県西部)の倉敷市を結んでいます。さらには、長大な路線の場合、 磐越西線や磐越東線、陸羽西線と陸羽東線のように、路線名が方位により分 けられる場合もあります。ここで福井県の地図を見ると、JR 西日本の越美 北線(愛称:九頭竜線)という路線が目に入ります。では、対になる越美南 線という路線があるのかと目を凝らしても、対応する JR 線は見当たりませ ん。一方で、岐阜県の山の中で行き止まりになっている、長良川鉄道越美南 線が目に飛び込んできます。これが実は、越美北線と結ばれるはずだった路 線です。今回は、結ばれなかった悲運のローカル線をご紹介します。

### 1. 史跡が点在するローカル線! JR 西日本 越美北線

美北線は、福井市の越前花堂(えちぜん はなんどう)と岐阜県美濃加茂市の美 濃太田を結ぶ越美線の北部の区間として、福 井側から工事がはじめられ、岐阜県側からも 越美南線の工事が進められました。越美北線 は、岐阜県境に近い九頭竜湖(くずりゅうこ) 駅までは昭和47年に開通し、また、越美南線 も、岐阜県の北端に近い北濃(ほくのう)駅



福井駅の名物駅弁はずばり 「越前かにめし」です。



越美北線の終点九頭竜湖駅。駅の周囲も山に囲まれて います。車止めの先、線路は岐阜県へ通じるはずでした。

までは戦前に開通し ていましたが、それ 以上工事が進められ ることはなく、越美 南線は利用客が少な いことから、第3セ クターの長良川鉄道 になり、JR線には 引き継がれませんで

した。現在、越美北線 と南線を結ぶ路線バス は廃止され、両路線の 間を移動する需要がな いことがうかがい知れ ます。

越美北線の列車は、 北陸本線の福井駅から 発車します。福井駅の 西隣にある越前花堂か



車内から眺める九頭竜川。トンネルが多いので、 川が見える区間は限られています。

ら越美北線として北陸本 線から分かれ、一路、九

頭竜湖を目指します。沿 線最大の駅、越前大野を

超えると山に分け入り、

終点が近づくと九頭竜川

が近づきますが、この区

間はトンネルが多く川が



越美北線で乗降客の最も多い、越前大野駅付近の市街地。城跡があり、のんびりとした風情の町です。

市街地。城跡があり、のんびりと 点の九頭竜湖は駅の周辺に何 もないところで、線路がぷつ んと途切れており、線路の先 に目をやると、県境の山々が 通せんぼをするように立ちは だかっています。あの山を越 えると、越美南線の北濃駅が ありますが、今一歩及ばな

かったローカル線の悲哀を感



大野城址から望む大野市街地。 山に囲まれた静かな町です。

沿線には多くの史跡が点 在しており、途中の一乗谷 駅から徒歩すぐの一乗谷朝 倉氏遺跡、越前大野駅付近 にある大野城跡、越前大野 駅から、えちぜん鉄道の勝 山駅へ抜けるバス路線沿い にある平泉寺(へいせんじ) 白山神社などがあります。 平泉寺白山神社は、1300 年も前に開かれた古刹で、 うっそうとした木立の中に



大野から勝山へ抜ける途中にある平泉寺 白山神社の参道。うっそうとした木立が 荘厳な雰囲気を醸し出しており、 日本の道 100 選に選ばれています。

趣深い参道があり、境内にある看板によると、1547年に焼失した拝殿は、正面が 45 間もある我が国最大のものだったそうです。現在の拝殿は、1859年に再建されたものだそうですが、左右に残る礎石から、かつての拝殿の大きさをしのぶことができます。越美北線は行き止まりの地味なローカル線ですが沿線には味わい深い史跡があり、途中下車をしてゆっくり楽しみたい路線です。 (岡山大学職員組合 組合だより 194 号より加筆のうえ再掲)



苔むした平泉寺白山神社の境内。ところどころに 建物の礎石も見られ、かつての繁栄が忍ばれます。

じさせます。

75

## 2. 長良川に沿って走る第三セクター鉄道! 長良川鉄道 越美南線

**♪♪** 章の越美北線は、県境を超えて岐阜県へ向かうはずでした。しかし九 頭竜湖駅から先の県境を越えられず、岐阜県の美濃太田から北濃 (ほく のう) 駅まで伸びていた越美南線とは接続できませんでした。今度は結ばれ るはずだったもう一方の路線、長良川鉄道越美南線に美濃太田駅から乗って

鉄橋を渡る列車の車内から撮影した長良川。 釣りをしている人が見えます。

国鉄末期の昭和61年 には第三セクターの長 良川鉄道に転換し、JR の路線網からも切り離 されました。かつて九 頭竜湖駅と美濃白鳥駅 を結んでいたバスは廃 止され、両線の間を公 共交通機関で移動する ことはできません。

長良川鉄道のレール バスは、美濃加茂市の

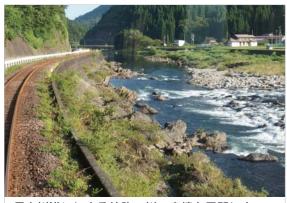
旧国鉄越美南線は、郡上お どりで有名な郡上八幡、美濃 白鳥(みのしらとり)を経て、 長良川に沿って岐阜県内を北 上し、昭和9年に岐阜県北部 の北濃駅に達しました。越美 北線の九頭竜湖駅まで、 30km にも満たない所まで レールが来ましたが、これ以 上、路線が伸びることはなく、

みましょう。



美濃太田から 1 時間 20 分ほどで郡上八幡駅に到着。 木造の駅舎に石積みのホーム、典型的なローカル線 の駅です。

美濃太田を出てしばらく 走ると、関市に入ります。 関市は刃物で有名な町で、 その名もずばり刃物会館 前駅もあります。その後、 美濃市駅を出てしばらく すると、やがて車窓に長 良川が見えてきます。こ の先、終点の北濃まで長 良川が線路に寄り添い、 10 同近く鉄橋で川を越



長良川沿いに走る線路。川の表情も区間によって 変わり、石が多いところや、川幅が広くなりゆっ たり流れているところなど色々です。

えていきます。鉄橋から川面を見ると、川に入って釣り糸を垂れている人も 見受けられ、どんな魚が釣れるのか、想像を掻き立てられます。越美南線に 並行するのは、長良川だけではありません。愛知県と富山県を結ぶ高速道路、 東海北陸自動車道も、関市以北で越美南線とほぼ同じルートを通っており、 車社会の現実を見せられます。実は筆者も、美濃太田から北濃まで乗車した 後、北濃で折り返して郡上八幡まで戻り、そこからは岐阜まで、高速バスを 利用しましたが、大都市まで乗り換えなしで、しかも早く行ける自動車は、



美濃白鳥駅前の白鳥おどりの像。 お盆前には町は踊り一色になるそうです。

越美南線に限らず、ローカル線に 大きな脅威となっています。

美濃太田を出て1時間20分程 度で、郡上八幡に到着します。す でに長いこと列車に揺られていま すが、越美南線は72kmもの距離 を走る長大路線で、まだ全線の 2/3 を走破したに過ぎません。郡 上八幡からさらに30分程度走る と、美濃白鳥駅に到着します。駅 前は閑散としていますが、7月下

77

旬からお盆にかけて、毎週末 ごとに白鳥おどりが踊られ、 お盆には徹夜踊りが数日にわ たり行われるなど、大いに盛 り上がるようです。美濃白鳥 で丸い革のバンドが付いたス タフを受け取って、終点の北 濃へ出発します。スタフとは 単線区間で使用される列車の 通行手形のことで、今でもス



木造駅舎の美濃白鳥駅。ホームの柱には、 列車の安全を守るスタフ(丸い輪の先にある もので単線区間の通行手形、これを持たない 列車はこの先走れません)がかかっています。



終点の北濃駅前を流れる長良川。この先を 阻むように、上流側には山々がそびえています。

タフを使用している鉄道は少なくなり貴重なものです。美濃白鳥から北濃まではわずか10分の区間ですが、ここまで来ると列車の本数も少なくなり、終点の北濃駅まで来る列車は平日でも9本だけです。駅前に長良川が流れるだけの静かな駅ですが、九頭竜湖駅と同じく、途切れた



終点の北濃駅に到着。終点は草生しておりレールが消えていきます。このレールは越美北線の 九頭竜湖を経て福井までつながるはずでした。

線路の先には山が立ちは だかり、路線の全通が叶 いそうにない現実を思い 知らされます。

北濃駅にはわずか10 分の滞在で折り返しの美 濃太田行はこの山深い駅 を離れます。帰りの列車 で前を眺めていると、途 中の駅で対向列車の待ち 合わせの間に、若い運転 手さんが沿線の景色の良



北濃駅から郡上八幡へ再び戻ってきました。 高校生がレールバスに乗り込みます。 高校生はローカル線を支える大事なお客です。

いところなどを教えてくれます。このまま美濃太田まで乗っていたいところですが、残念ながら行程の都合で途中の郡上八幡で下車しないといけません。 暮れなずむ郡上八幡駅で愛すべきローカル列車を見送り岐阜行きのバスに乗り込みました。(岡山大学職員組合 組合だより195号より加筆のうえ掲載)

#### おわりに

全国には、他にも途中で建設工事が終わり、行き止まりになってしまった鉄道路線がいくつかあります。首都圏の近くだと、房総半島を横断する目的で建設された久留里線などが挙げられます。また三重県の松坂駅から伊勢奥津(いせおきつ)駅を結ぶ名松(めいしょう)線は、伊勢奥津から先、名張(なばり)までを結ぶ計画がありました。名張と松坂から1字ずつ取った「名松線」という路線名からも計画を偲ぶことができます。行き止まりの路線(鉄道ファンの間では「盲腸線」と言ったりします)が他の路線と結ばれていたら人やモノの流れはどうなっていただろうなどと考えながら、ローカル線の旅を楽しむのも一興です。